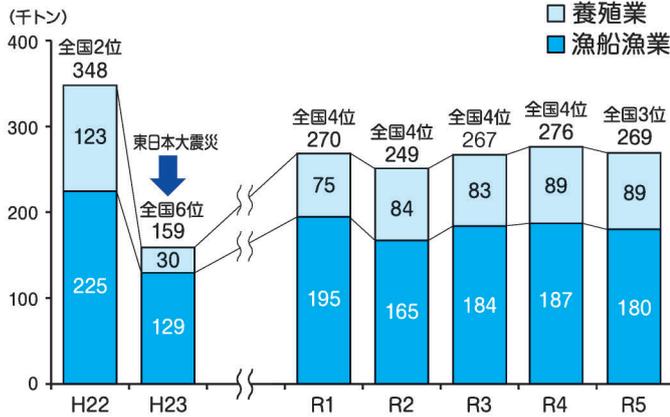


## 2 宮城の水産業の現状

宮城県の漁業生産量は、東日本大震災前の平成22年までは北海道に次ぐ全国第2位、漁業産出額は全国第5位を誇っていました。震災により漁業生産は大きく落ち込みましたが、復旧・復興が進み、令和5年の漁業生産量は全国第3位、漁業産出額は第4位となっています。

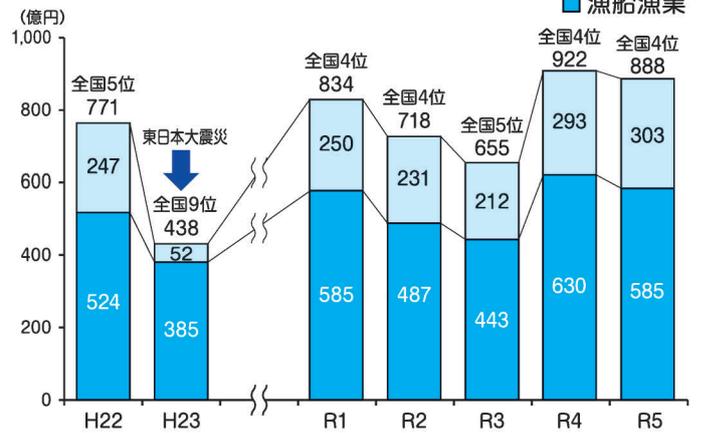
近年、サケやサンマなどの冷水性魚種の水揚量が減少する一方で、ガザミなど震災後に水揚量が増加した魚種もあり、海洋環境の変化などにより水揚魚種の変化が見られています。

### ■ 漁業生産量の推移と全国順位



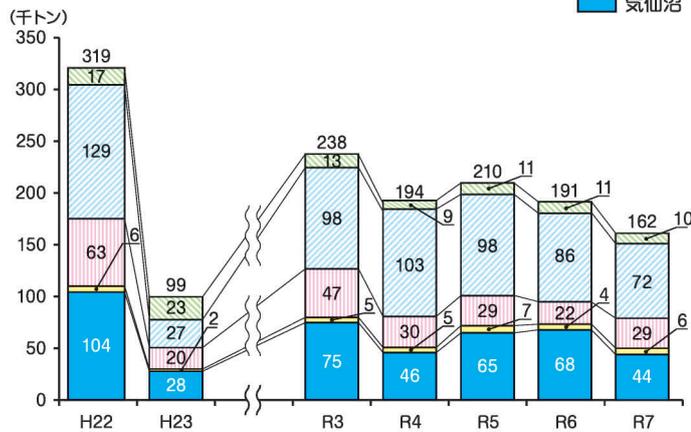
出典：漁業・養殖業生産統計年報（農林水産省）

### ■ 漁業産出額の推移と全国順位



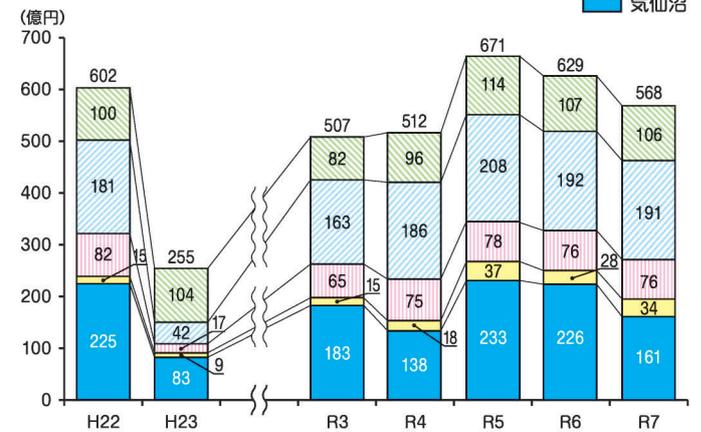
出典：漁業産出額年報（農林水産省）

### ■ 主要魚市場の水揚数量



出典：水産物水揚統計（宮城県）

### ■ 主要魚市場の水揚金額



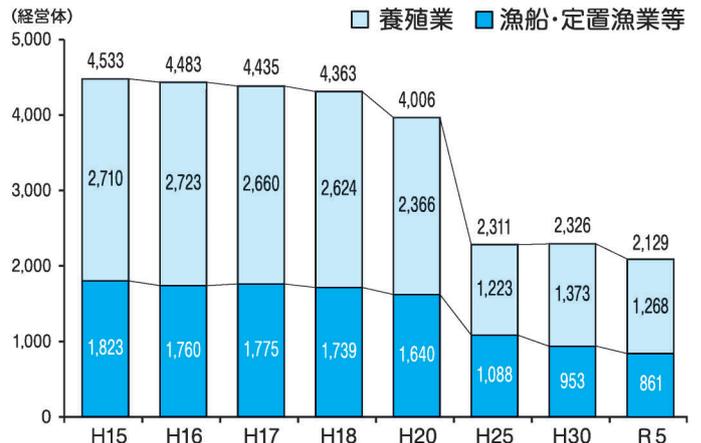
出典：水産物水揚統計（宮城県）

### ■ 主な魚類の生産状況

区分	種類	平成22年	平成23年	令和					全国順位	
				元年	2年	3年	4年	5年	平成22年	令和5年
主な漁船漁業漁獲物	まぐろ類	21,860	19,489	22,062	22,380	18,303	19,600	19,257	第2位	第2位
	かじき類	3,634	2,879	2,942	3,338	2,543	1,991	2,235	第1位	第1位
	かつお	28,485	24,944	32,045	24,870	30,658	33,326	21,028	第3位	第2位
	さめ類	17,924	10,373	11,731	10,241	10,633	11,545	11,776	第1位	第1位
	さんま	28,188	29,676	5,973	3,675	2,341	2,044	2,548	第2位	第3位
	ひらめ	344	288	894	724	585	733	624	第7位	第4位
	かれい類	1,521	887	1,609	1,004	788	909	651	第10位	第9位
	たら類	15,148	4,960	5,003	3,673	5,650	9,073	3,279	第3位	第4位
	いかなご	4,015	3	68	0	0	36	0	第6位	—
	あなご類	220	119	316	229	199	180	194	第9位	第3位
	いか類	15,591	10,907	3,459	5,045	3,214	2,358	4,133	第4位	第4位
	がざみ類	2	9	334	337	357	225	329	第32位	第2位
	おきあみ類	18,463	—	9,816	460	1,489	5,712	5,481	第2位	第2位
	あわび類	141	104	55	63	74	90	74	第2位	第3位
うに類	744	102	472	540	594	568	655	第3位	第3位	

出典：漁業・養殖業生産統計年報（農林水産省）

### ■ 宮城県の漁業経営体数の推移



出典：宮城県農林水産統計年報（宮城県）及び漁業センサス（農林水産省）